

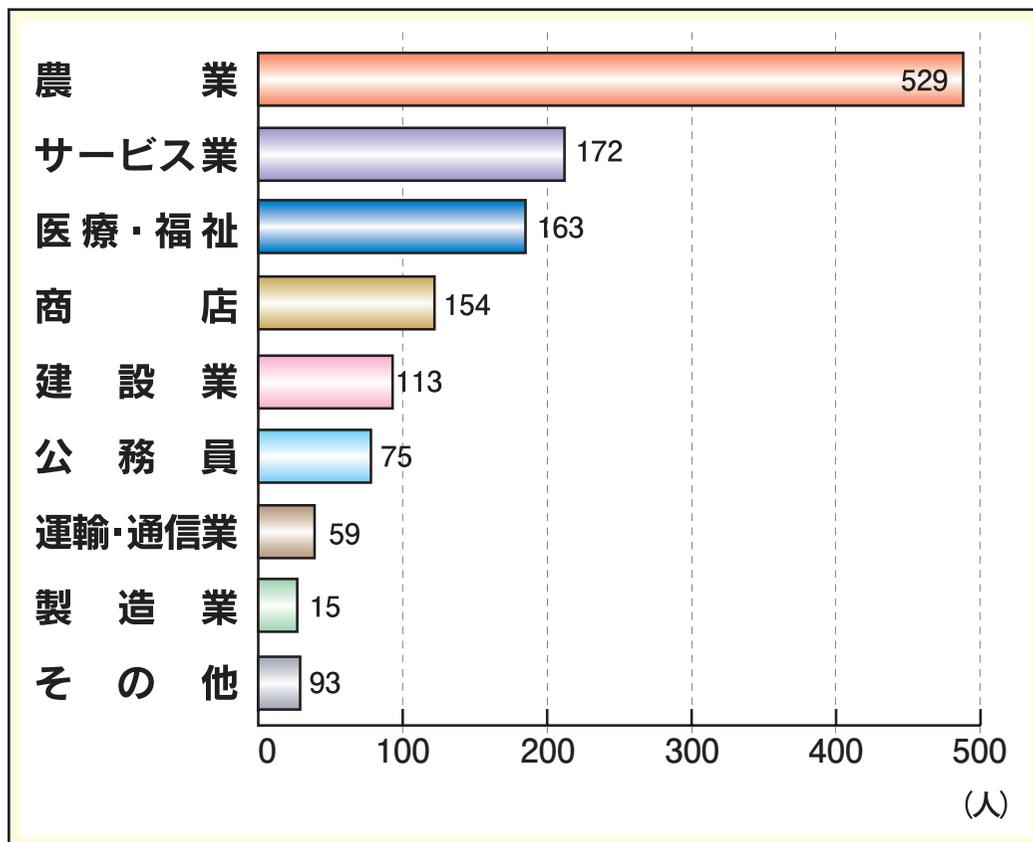
4

まちではたらく人たち



ゆいさんたちは、まちたんけんをしたときに役場やコンビニエンスストアなどのたて物があり、そこではたらいている人がいることに気づきました。

そこで、雨竜町ではどんな仕事があるのか、みんなで調べることにしました。



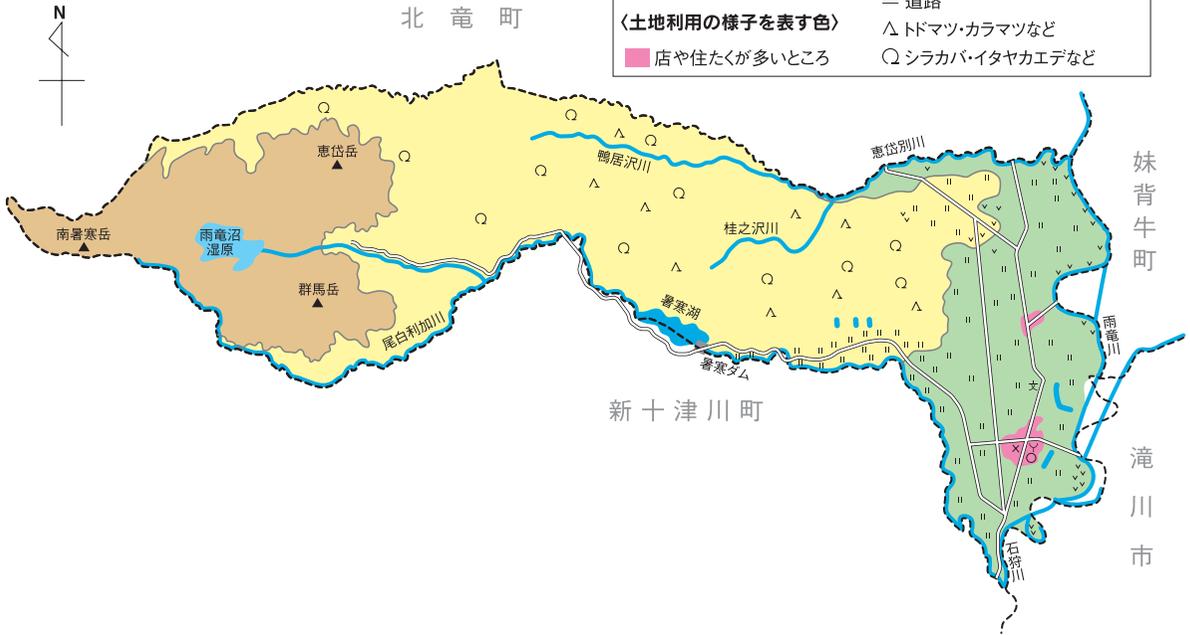
◇どんな仕事があるの

雨竜町には、やく2,300人の人が住んでいます。そのうち1,300人ぐらいの人たちが、農業・お店・役場・工場・学校などで、いろいろな仕事をしています。

ゆいさんたちは、どのような場所でどのような仕事をしているのか、どのような苦ろうやくふうがあるのかなどを調べてみたくなりました。

雨竜町ではどのような仕事があるでしょう。

〈土地の様子を表す色〉	〈地図記号〉
高い土地	丈 小・中学校
やや高い土地	○ 町役場
平地	Y 消防署
川・湖・沼	× 駐在所
湿原	田
	▽ 畑
	= 道路
〈土地利用の様子を表す色〉	
店や住たくが多いところ	△ トマトン・カラマツなど
	○ シラカバ・イタヤカエデなど



1

のうぎょう
農業のまち
うりゅう
雨竜

(1) ^{こめ}米づくりはどのようにするの

ゆいさんは、^{うりゅうちよう とちりよう}雨竜町の土地利用の地図やグラフを^み見てみると、^{た はたけ おお}田や畑が多いことに^き気がつきました。

そこで、^{うりゅうちよう}雨竜町では米づくりがさかんなのではないかと^{かんが}考え、まずさいしょに^{こめ}米づくりの^{しごと}仕事について、^{しら}調べてみることにしました。



▲みのったいね

(2) ^{のう か けん がく}農家を見学しよう

ゆうたさんたちのグループはさっそく、^{のう か けん がく}農家を見学することにしました。

そのために、^{しら}調べてみたいことを
^{はな あ}話し合いました。

農家を見学する計画を立てよう。

〈調べてみたいこと〉

- 水田の広さや様子
- 米づくりにはどのような仕事があるのか
- つくられたお米はどこへ送られるのか
- どうして雨竜で米づくりがさかんなのか



▲橋本さんのそうこ



▲^{せい}精米したお米

(3) ^{けん がく}見学しよう

ゆうたさんたちが、^{すいでん のう か}水田農家の^{はしもと}橋本さんの^{いえ}家をたずねました。

すると、^{いえ}家の^{まわ}周りには^{ひろ}広い^{すいでん}水田が^{ひろ}広がり、^{ちか}近くには^{おお}大きな^{なか}そうこがありました。^{なか}中を見せて^みいただくと、^たたくさんの^ききかいや^{どうぐ}道具が^{なら}な^らんで^いいました。

わたしたちは、そうこの^{なか}中やまわりで見つけた^みきか
 いや^{どうぐ}道具などについて、お話を^{はなし}聞^ききました。



▲使っているきかいなど

ゆうたさんは、きか^{どうぐ}いや道具のほ
 かに^{なに}も、何か^{はい}ふくろに入っている物^{もの}
 や、^{ちい}小さなくぼみ^{いた}がたくさん^みついた
 板^{いた}も見つけました。

それらの物^{もの}は何^{なに}に使う^{つか}のかをたず
 ねてみました。



▲薬やひりょう

米づくりの様子をかん
さつしたり、聞いたり
しよう。

(4) ^{こめ}米づくりはどのようにするの

こちらの農家では、おもに「ななつ
ぼし」という品^{ひん}しゆ^{こめ}の米をつくって
います。

はじめに、米づくりの1年間^{ねん かん}につ
いて、せつ明^{めい}していただきました。



①なえづくり



④しょうどく



②しろかき



⑤いねかり



③田植え



⑥かんそう・もみすり・ふくろづめ

水田を見ると、いねがきれいにならんで、育っています。ゆうたさんは、この後、どのようなお世話をしたり、苦ろうがあるのかたずねてみました。

お米ができるまでには、
 たくさんの仕事があるなあ。
 水の深さをかえたり、
 しょうどくをしたりするのは
 なぜだろう。



月	いねの育ち方と米づくりの仕事
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆう雪ざいをまいたりして、雪をとかす。 ・たねを水につけてから温度を上げてめを出させる。
4月のはじめ	 <p>めをだす</p>
4月の終わり	<ol style="list-style-type: none"> ①そのたねをなえ箱にうえる。 ②ハウスの中でなえを育てる。 ・ハウスの温度をちょうせつする。 ③トラクターで田をおこし、ひりょうをまき、しろかきをする。
5月の中ごろ	 <p>4まい葉</p> <ol style="list-style-type: none"> ④田植えきで、田植えをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・さしなえをする ・気温に合わせて、水の深さをちょうせつする。 ・じょ草する葉をまく。
7月の中ごろ	 <p>ぶんけつ</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤虫や病気を防ぐために消どくする。
8月のはじめ	 <p>花がさく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水をぬく
9月の中ごろ	 <p>みのる</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥コンバインでいねかりをする。
10月のはじめ	<ol style="list-style-type: none"> ⑦かんそうきでかわかす。 ・もみすりをする。 ・ふくろづめをする。 ⑧けんさをうけ、出荷する。



用水路について調べてみよう。

(5) お米のための用水路

ゆいさんたちは、見学した時に、水田のまわりに水が流れていることに気づき、橋本さんにたずねてみると「あれは用水路だよ。」と教えてくださいました。

そこで、この水はどこから流れてくるのかを知りたくなりました。

用水路をたどっていくと、ダムに
たどりつくことがわかりました。

そこでゆいさんたちは、ダムに行っ
て、そこではたらいている方に話を聞
いてみることにしました。



〈雨竜土地改良区の方のお話〉



この雨竜土地改良区では、農家の人たち
がおいしいお米をたくさんつくってもらえ
るように、安全できれいな水を流すために
いろいろな仕事をしています。

水源地の暑寒ダムでは、水の量を調節し
たり、流木やごみをとったり、水の中に害になる物がな
いかを検査したりする仕事もあります。

また、水がスムーズに流れるように用水路の通る道を
考えたり、水田の水がすぐにへらないように、水田の下
の土について研究したりしています。

それからお願いですが、とくに春には用水路の水が多
くなるので、落ちて流されないように近くで遊ぶのはや
めてくださいね。

できた米はどこへいく
のだろう。

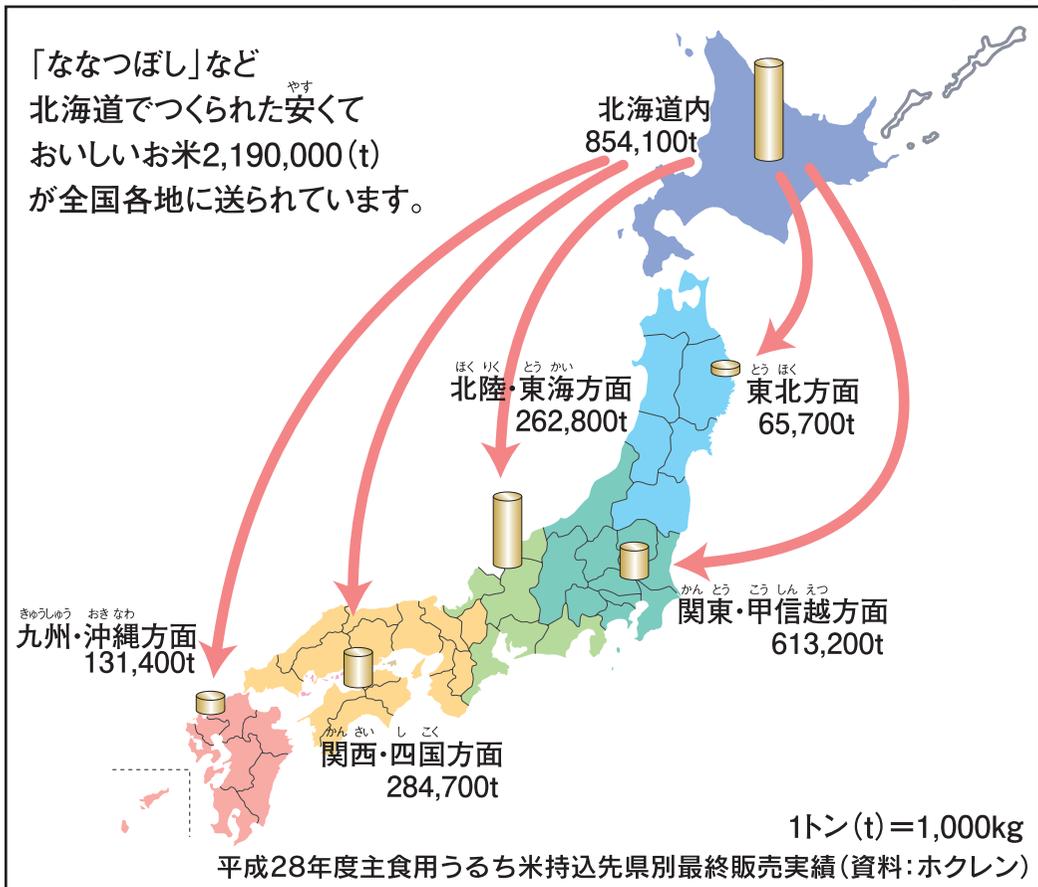
(6) お米はどこへ

取り入れした米をかんそうさせ、もみすりしてふくろにつめると、けんさ場にトラックで運びます。

そこで、国のけんさを受けて1等米、2等米などに分けられた後、出荷されます。

雨竜でつくられたお米は、全国各地にも送られるそうです。

▼全国に送られる北海道の米



(7) 米づくりがさかんになったのは

わたしたちは、どうして雨竜町でこのように米づくりがさかんになったのか、ぎもんに思いました。

そこで、橋本さんに話をうかがいました。

雨竜町で米づくりがさかんになったわけを調べよう。

〈客土〉

土をよくするためにえいようのある土を入れること。



〈農家の方のお話〉

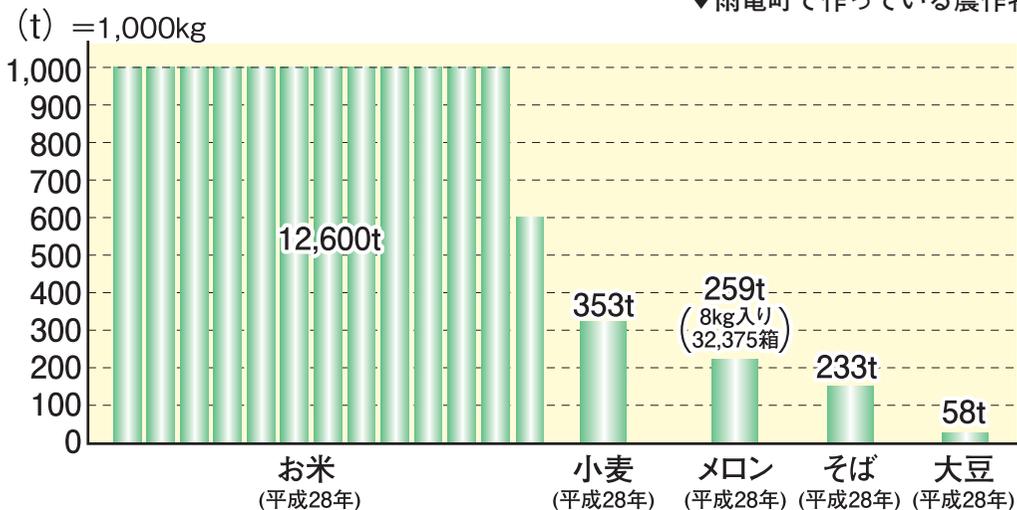
米づくりには、水がとても大切です。

雨竜町では、尾白利加川の上流に暑寒ダムをつくり、用水路やはい水路を整えたりしたので、たくさん水が田に利用できるようになりました。

また、客土をしたり、大きなきかいが使えるように水田も大型にしました。寒さに強い米をつくる研究もしてきました。そのため今では、たくさん米がとれるようになりました。

しかし、きかいやひりょう・農薬を使うのにたくさんのお金がかかります。今一番ざんねんなことは、お米があまるようになり、米づくりを休んだり、ほかの作物をつくったりしなければならないことです。

▼雨竜町で作っている農作物



北海道農林水産統計年報 (総合編) より [平成28年~29年]



どのような作物がつくられているか調べよう。



▲メロンハウス

(8) ^{はたけ}畑では何をつくっているの^{なに}

たいちさんは、^{こめ}米づくりだけではなく、^{うりゅうちようぜんたい}雨竜町全体の^{のうぎよう}農業の^{ようす}様子についても知りたくなりました。

すると、^{うりゅうちよう}雨竜町では^{ねん}40年くらい前^{まえ}からメロンづくりがさかんになってきたことがわかりました。

メロンづくりの仕事は、^{しごと}雪のある2^{ゆき}月の^{がつ}終わりごろから^お始まります。たねは、5～7日^{にち}ぐらいおきにまき、なえ^{そだ}を育てます。

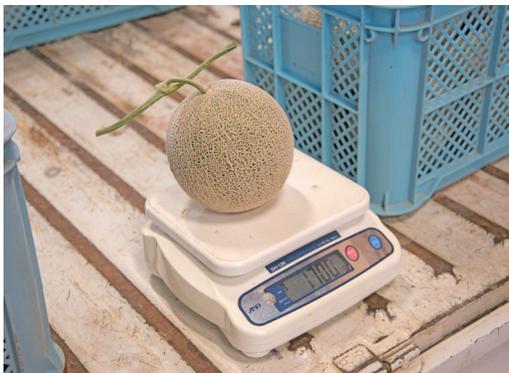
めが出ると、1本1本ポットに植え
かえ、3月の終わりにポットから土に
植えかえます。

植えてから1か月くらいたつと実が
よくつくように、みつばちをビニルハ
ウスの中に入れます。

よいメロンにするために、1本のつ
るに2つくらい残して、あとはつみど
り、残したつるから出ている実をメロ
ン皿の上に乗せ、大事に育てます。

7月のはじめころから8月の中ごろ
までメロンがしゅうかくされます。形
のよいメロンを大きさに箱に入れ
て農協に出荷します。

出荷されたメロンは、北海道だけで
はなく本州にも送られます。



▲メロンの計量



▲メロン箱詰め



▲池上木工

2

工場の仕事

〈たて具〉

戸やしょうじ、ふすまなど。

わたしたちは、メモリアルパークの
ちか 近くのたて具工場ぐ こうじょうを見学けんがくすることにした。
 そこで見学けんがくする計画けいかくを立てました。

〈工場の見学計画〉

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1、見学の日 | ○月○日 (○) |
| 2、見学する工場 | ○○木工場 |
| 3、持ち物 | メモちょう・筆記用具 |
| 4、見てくること | 作られるじゅんじよ
はたらく人やきかいの様子 |
| 5、聞いてくること | 原りょう 送り先 苦ろう |



▲たて具をつくるための道具

工場に見学に行くと、工場長さん
 が出むかえてくれました。この工場
 は、1946（昭和21）年に雨竜町とは
 別な土地で家具やふすまなどを作って
 いたのがはじまりだそうです。



＜工場の方のお話＞

ここで使うざい木は、道内や本州から集まります。
 そして、1年いじょうかんそうさせてから使います。
 注文は、滝川を中心に道内各地からもあります。
 一つ一つていねいに作って、げん地でとりつけます。
 さいきんはデザインも新しくなったりして、作るの
 もたいへんですが、ぴったりと合ったときは、とてもうれしいです。
 ここには、切ったりけずったりする道具やきかいがたくさんあるので、
 けがをしないように十分に気をつけています。

どうやって、
 作った物を
 運ぶのかな？



ほかには、
 どんな工場が
 あるのかな？



3

わかったこと をまとめよう

どのようにまとめるかを、決めよう。

さくらさんのグループは、これまで
調^{しら}べてきたことを、紙^{かみ}しばいにしてま
とめることにしました。

グループで話^{はな}し合^あい、米^{こめ}づくりにつ
いてまとめることにしました。

まず、どのようなお話^{はなし}にしたらよい
かを^き決めて、絵^えと文^{ぶん}を^{かんが}えました。

次^{つぎ}に、それぞれの絵^えをか^{ひと}く人、文^{ぶん}
を^か書^{ひと}く人などを^き決めました。

ていねいに絵^えをかいたり、文^{ぶん}をか
いたりした^{あと}後で、どのように^{はっぴょう}発表するの
かを^き決めて^{しゅう}れん習しました。

きかいはのことは
かきましょうよ。



もっと大きく
書かないと
見えない！





▲「紙しばいの発表の様子」

★発表会をしよう

それぞれのグループが、もぞう紙や
紙しばいなどにまとめた物を発表しま
した。

みんな、声の大きさや速さなどに気
をつけながら発表をしました。

そして、雨竜町の農業や工場などで
はたらく人たちのことについての発
表が終わった後、れんさんは、ぎもん
が出てきたので、今度は自分一人で調
べてみようと思いました。

今度はカルタ
にまとめて
みたいな！

